

足音

一〇月二十六日

石巻中一年

学年通信No.三十二

編集・発行

鈴木 孝明

道

ふと、その人のことが思い浮かんだのは、月曜日にみんなの学年合唱を聴いた時でした。

アントニオ猪木さん。

「元気ですかー！」のフレーズとそのカリスマ性、行動力で一時代を築いた猪木さんが、今月の一日にお亡くなりになりました。その数々の功績は、報道で目にした人もいたでしょう。その猪木さんがプロレスを引退する際、こんな言葉を残しました。



日本を元気にし続けた自身の生き様とも言えるこの言葉を、ふと思い出しました。

一年生の学年合唱

「We, I Find The Way

はるかな道へ」

まさに、「道」をテーマにした曲です。



今わたしたちは はるかな道を
未来にむかって 歩みはじめた
それぞれの夢を 胸にいだいて
まだ見ぬ場所に 想いをはせる

一番のメロディ部分。今年、中学校生活をスタートさせたみんなが歌う意味がよくわかります。出会うもの全てが初めてで、今度の合唱コンクールの舞台もまだ見ぬ場所です。

ぼくたちの時代は まだまだ遠いけど
めぐりくる季節は 駆け抜けるだろう

一つの終わりは、同時に新たな始まりを告げる。やがて来る自分たちの時代へ向け、今みんなは駆け抜けている。そして、タイトルである「We, I Find The Way」の意味は、「私たちは道を見つけるだろう。」

（見つけるつもりだ）（訳：松島先生）

明日、合唱コンクール本番の舞台へと続く道。それは、これまでに仲間とともに歌ってきた日々がつくってくれたもの。一年生の全クラス、時にぶつかり合いながら、がむしゃらに歌ってきた。だから、恐れることはない。仲間がいる。ともに励む中でつくってきた歌がある。その仲間と舞台上から見る景色はどんなものか。どんな歌が、クラスの音が響くか。きっと大丈夫。迷わず行けよ。行けば分かるさ。

☆ 連絡

明日の合唱コンクールでは、ステージ上では全員、冬の制服（名札を忘れず）で歌います。忘れずに準備をしておきましょう。なお暑い場合、他のクラスの合唱を聴いている時は、夏の制服になってもかまいません。そういう場合は両方とも準備しておきましょう。